

平成 15 年 1 月 21 日
総 務 省

「ＩＴによる科学能力開発国際会議」の開催について（結果）

日 時 平成 15 年 1 月 16 日（木）～ 18 日（土）の 3 日間

場 所 沖縄県（沖縄コンベンションセンター）

主 催 日本学会議

共 催 国際科学会議（ICSU）、科学能力開発委員会（CCBS）、
国際問題に関するインターアカデミーパネル（IAP）、
メディア教育開発センター（NIME）

協 力 沖縄県、琉球大学、NEC

参加者等 21 カ国 160 名（海外から 24 名参加 うち国際機関等 11 名）

使用言語 日本語及び英語（同時通訳）

会議内容

- (1) 世界のあらゆる国・地域において科学能力開発(Capacity Building in Science)を推進することは、持続可能な開発のための基盤であるとの認識の下、これを実現するために、最新の情報通信技術（ＩＴ）を活用しながら各国の実情に沿った教育システムを構築し、また、教育者を育成するなど、科学能力開発を効果的に推進するための方策について討議を行った。
- (2) インターアカデミーパネル（IAP）のエドワード・クリガー共同議長や理化学研究所脳科学総合研究センターの伊藤正男所長の基調講演など、著名な科学者が多数参加した。
- (3) 今後、科学能力開発(Capacity Building in Science)を推進する上において、国際社会の中で科学者が果たすべき役割及び各国が取り組むべきことを提言するための声明文を発表した。

「OKINAWA STATEMENT」

Capacity Building in Science The Basis for Sustainable Development

(4) 会議の日程

2003 年	午 前		午 後	
1 月 16 日（木）	開会式・基調講演		招待講演	
1 月 17 日（金）	初中教育	招待講演	初中教育	招待講演及び パネリステイション
	高等教育		高等教育	
	国際協力		国際協力	
1 月 18 日（土）	パネリステイション・総括		声明採択・閉会式	

- ・ 16 日（木）の開会式に牧野沖縄県副知事が出席し、また、同日夕歓迎レセプションには、稲嶺沖縄県知事及び森田琉球大学長が出席した。

	一般・県関係者	大学関係者	実行委員(県外)	講演者(含外国人)	計
1/16	48 名	30 名	42 名	27 名	147 名
1/17	41 名	7 名	45 名	30 名	123 名
1/18	9 名	3 名	43 名	27 名	82 名
計	98 名	40 名	130 名	84 名	352 名